

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- アルミ外枠は、床面から浮き上がらないよう取り付けてください。つまずいてけがをするおそれがあります。
- 収納本体は、はめ込み後アルミ外枠から浮いていない事を確認してください。アルミ外枠から外れ、けが・破損の原因となります。

■部材・部品一覧表

名称	入数	
収納本体	1	
アルミ外枠	1	
樹脂内枠	1	
アルミフタ枠	1	
EVカバー（断熱材付き）	1	
枠用断熱材	4	
補強棧	1	
回転把手	1	
回転把手裏板	1	
受け金具	4	
4mmベニヤ	1	
2.7mmベニヤ	1	
網トレ	1	
EVパッキン	4	
シートスペーサー	16	
樹脂スペーサー	8	
プチルテープ	1	
コーナーカバーセット	1	
ナベタッピンねじ	φ3×10（EVカバー固定用）	4
	φ4×16（アルミフタ枠固定用/補強棧取付け用）	16
丸木ねじ	φ3.8×25（アルミ外枠取付け用）	8
	φ4.5×32（受け金具取付け用）	※ 10
	M3×6（アルミフタ枠組立て用）	2

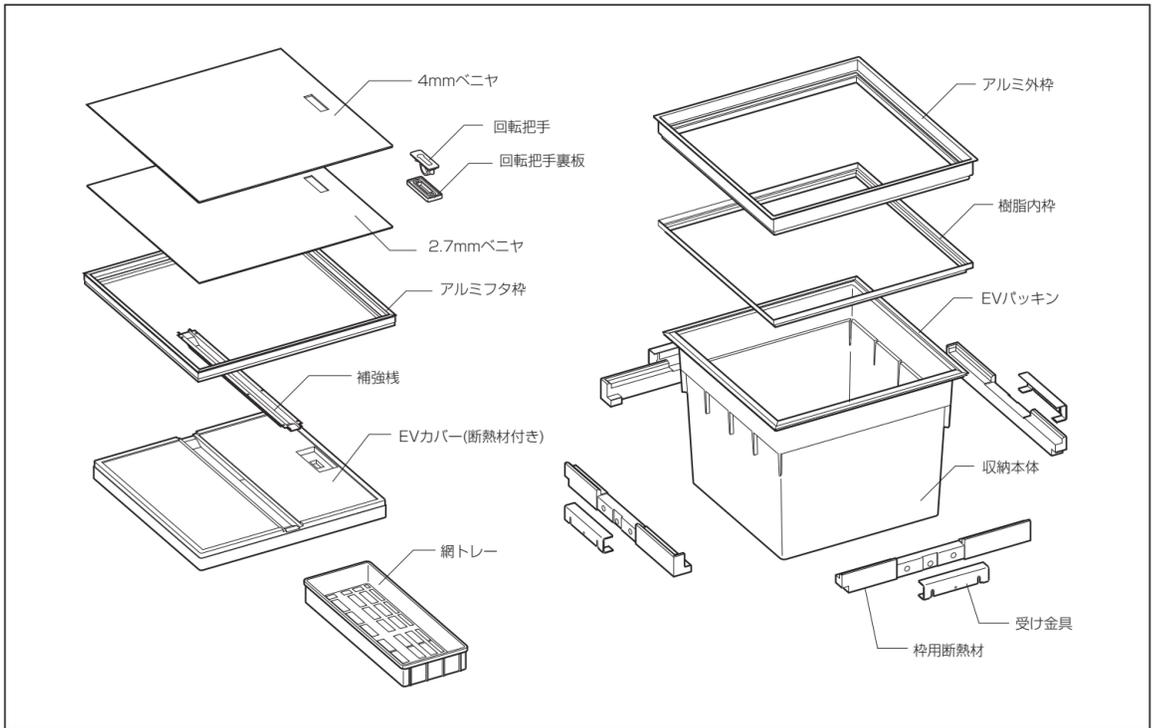
※本製品では、φ4.5×32（受け金具取付け用）丸木ねじは8本しか使用しません。

■施工上のお願い

- 枠取付けの際は、水準器等で水平・垂直を確認してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクは強くしすぎないでください。ねじが空転したり、ねじ頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 必ず指定のねじ（同梱）で固定してください。部品・部材の脱落や枠の垂れ下がり・ゆがみ等の原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）

- 枠組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- ガス・水道管に留意して取り付けてください。ガスもれ・水もれの原因となります。
- 収納本体は樹脂のため、火気や溶剤の使用の際は留意してください。

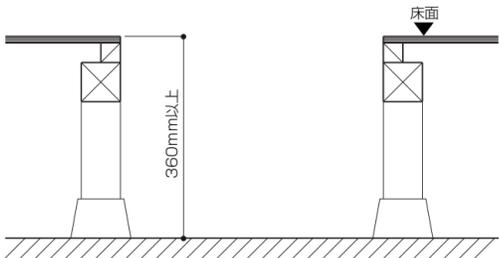
■各部の名称



■組立て順序

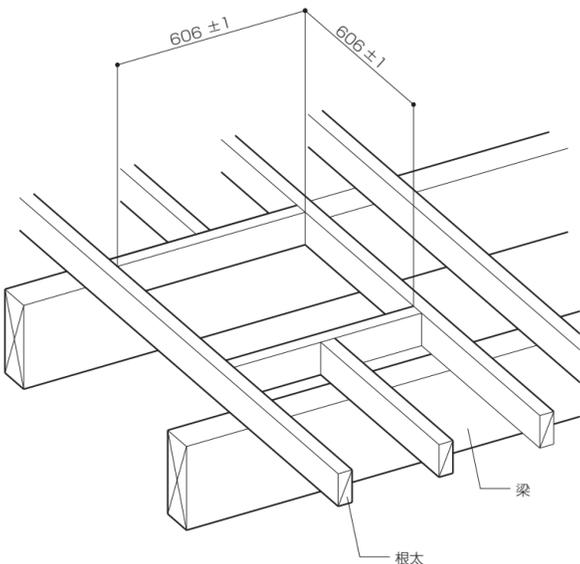
1 取付け現場の確認

- ガス・水道管・電気配線等の障害物がない事を確認してください。
- 梁・根太が指定の位置にある事を確認してください。
- 床材の木目方向（継ぎ目方向）に対し、アルミフタ枠の補強棧が直交するよう向きを決めてください。
- 床からの寸法（下図）および、障害物等がない事を確認してください。

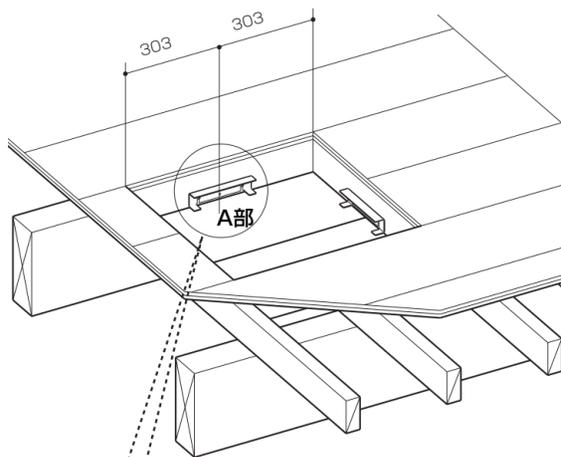


2 床組み

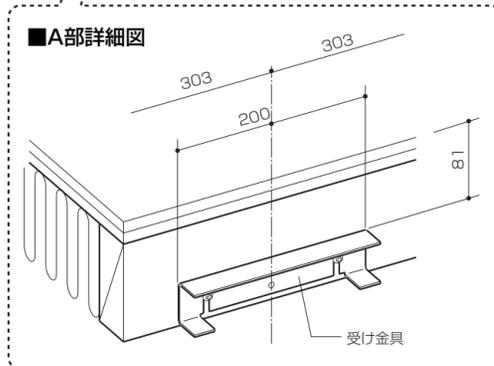
- 必要開口寸法となるよう床に穴をあけ、周囲に根太をまわします。
- ※アルミ外枠を取り付ける根太には、45×105以上のものを使用してください。



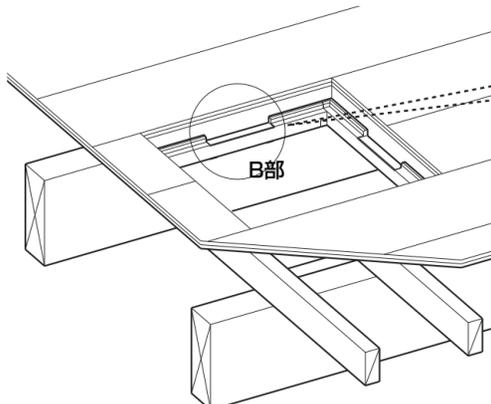
3 枠組み・取付け



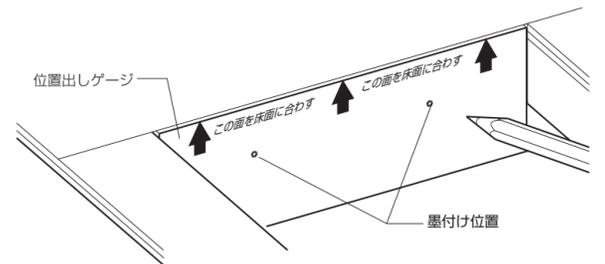
■A部詳細図



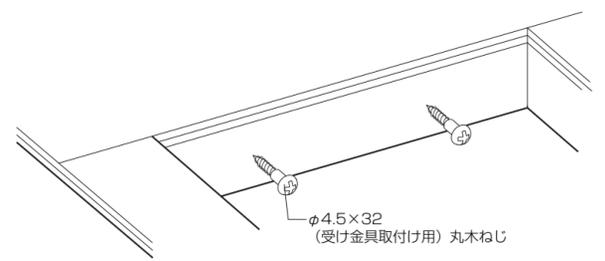
④受け金具に枠用断熱材をはめ込みます。



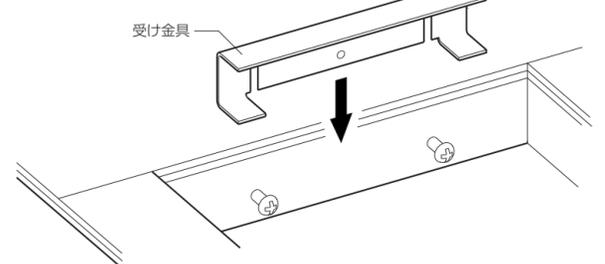
①付属の位置出しゲージを使用して、開口部の4方に墨を付けます。



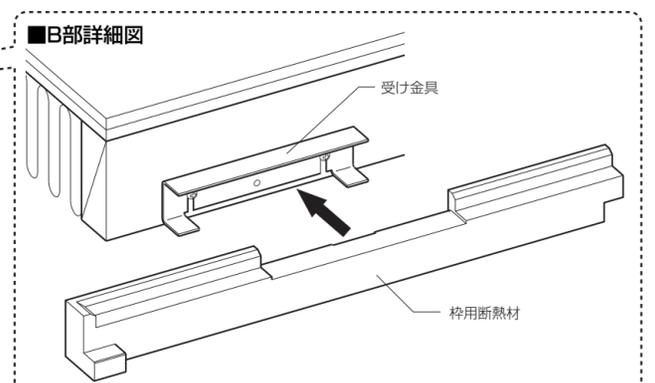
②φ4.5×32（受け金具取付け用）丸木ねじを半分程ねじ込みます。



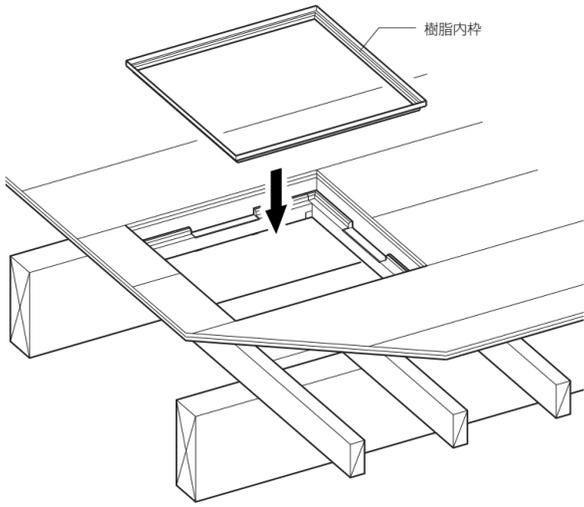
③受け金具を差し込み、ねじを固定します。



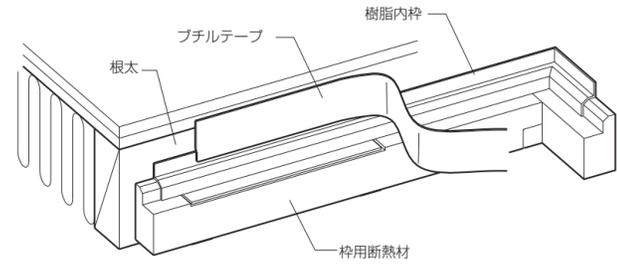
■B部詳細図



⑤樹脂内枠を開口部にはめ込みます。

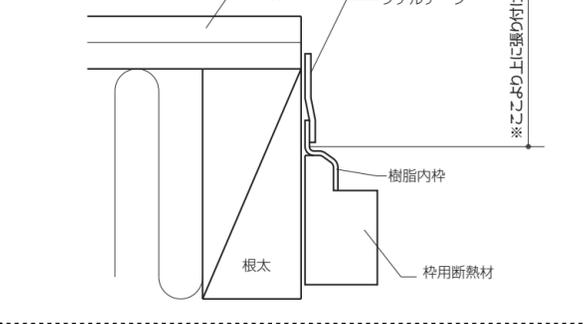


⑥付属のプチルテープを4方にまわして、樹脂内枠と根太を全周止めます。



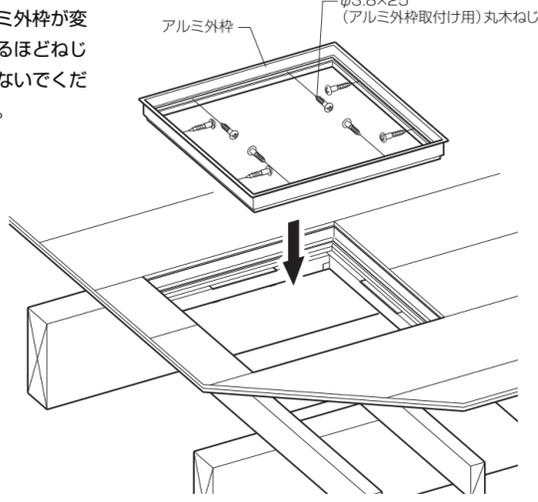
■プチルテープ張付け位置

※気密性保持のため、プチルテープは必ず図の位置に張り付けてください。

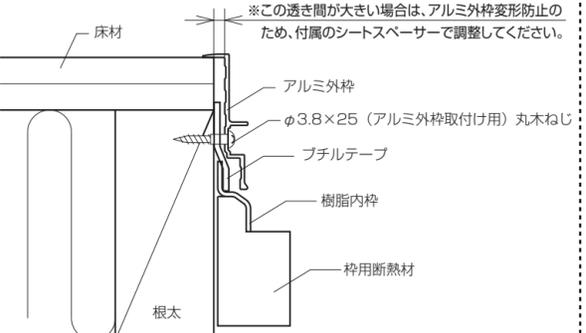


⑦アルミ外枠を開口部にはめ込み、φ3.8×25（アルミ外枠取付け用）丸木ねじで固定します。

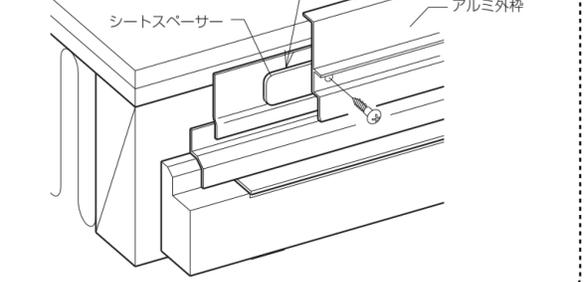
※アルミ外枠が変形するほどねじ込まないでください。



■固定方法

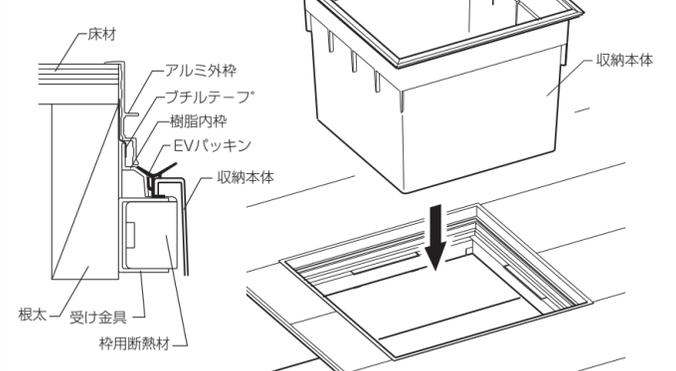


（シートスペーサーの使い方）

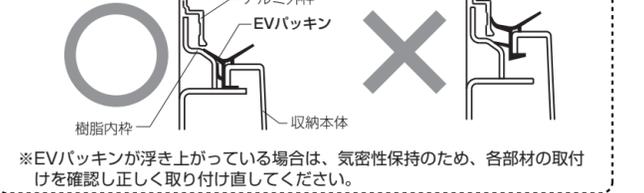


⑧収納本体をはめ込みます。

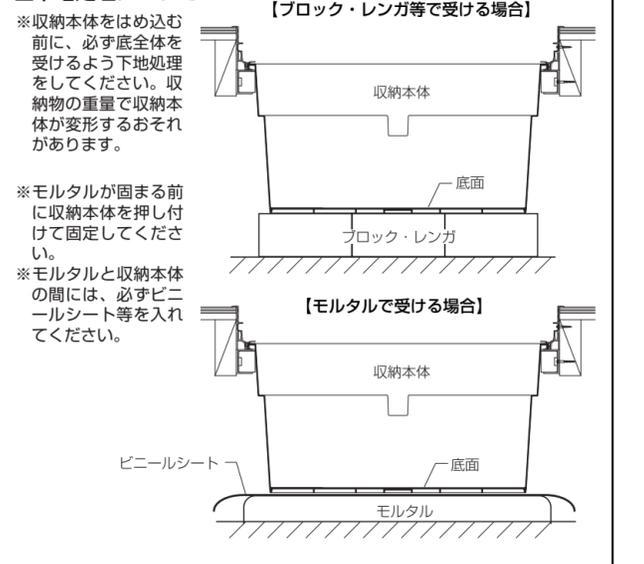
⑨EVパッキンの4方に浮きがない事を確認します。



■EVパッキンの納まり



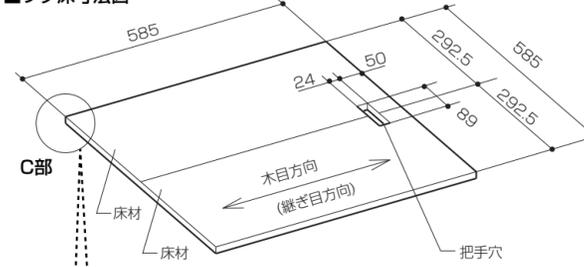
■下地処理について



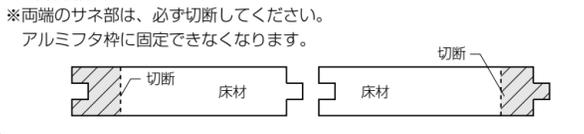
4 フタの組立て

①同梱のベニヤをゲージとして、床材を切断し把手穴をあけてフタ床を作ります。

■フタ床寸法図

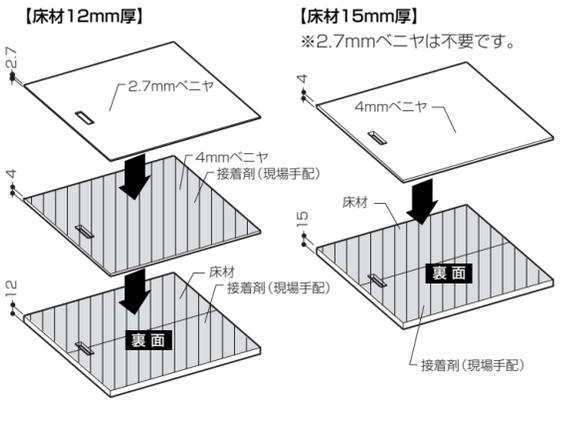


■C部詳細図



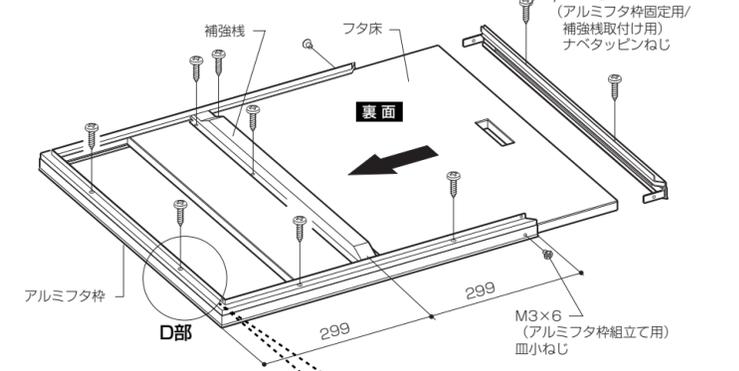
■板厚の調整

※フタ床の床材厚は約19mm必要です。床材が12mm・15mm厚の場合は、下図に従い同梱のベニヤを接着剤（現場手配）で張り付けて厚さを調整してください。



②フタ床をアルミフタ枠にはめ込み、M3×6（アルミフタ枠組立て用）皿小ねじでアルミフタ枠を組み立てます。

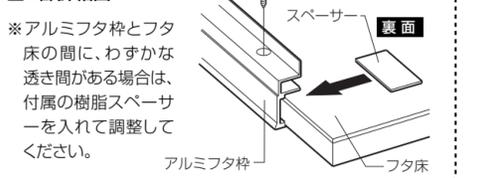
③アルミフタ枠・補強線を、φ4×16（アルミフタ枠固定用/補強線取付け用）ナベタッピンねじでフタ床に固定します。



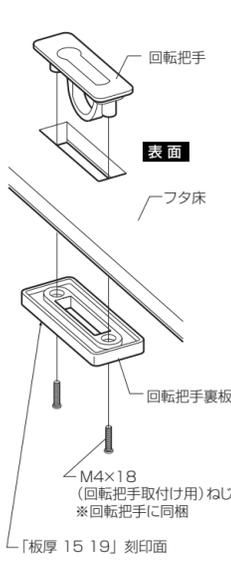
※補強線は、必ず床材の木目方向（継ぎ目方向）に直角に取り付けてください。

※アルミフタ枠が変形するほどねじをねじ込まないでください。

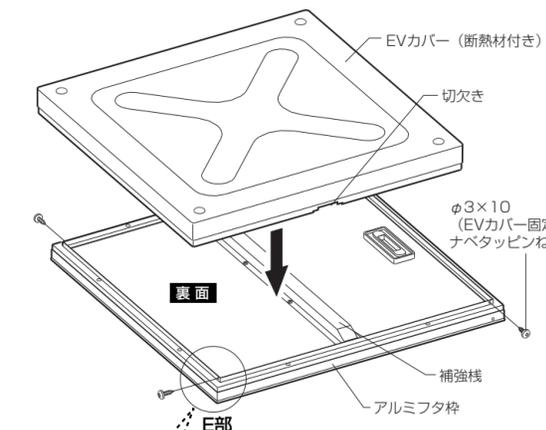
■D部詳細図



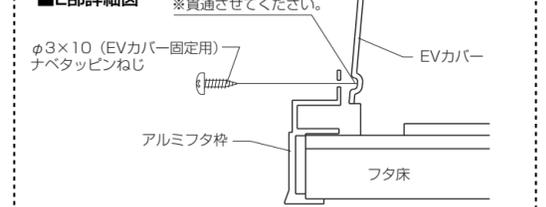
④回転把手裏板の「板厚1519」刻印面を下に向け、回転把手と固定します。



⑤EVカバーの断熱材の切欠きを補強線にはめ、φ3×10（EVカバー固定用）ナベタッピンねじで固定します。



■E部詳細図



■納まり図

